

岡山大学のニュース&トピックスおよび最新情報は岡山大学のホームページからご覧いただけます。

<http://www.okayama-u.ac.jp>

3 March

8日 学会等が制定する賞を受賞した学生を顕彰する「岡山大学学会賞受賞者表彰式」を挙げる

8日 「学生文化奨励賞・学生スポーツ賞」授与式を挙げる

9日 文学部学生が「若山牧水青春短歌大賞」大賞受賞

11日 ハワイ大学関係者が学長を表彰訪問

12日 本学大学院生2人が平成24年度「仁科賞」を受賞

15日 機関申請プログラムの事業推進責任者4人に学長表彰

18日 岡山大学病院に、低侵襲治療の拠点「I・V・Rセンター」が開院

19日 中国の陝西師範大と大学間協定を締結



20日 一般入試後期日程 10月入学国際バカロレア入試の合格者発表

22日 定例記者発表を開催

25日 平成24年度学位記授与式を挙げる



25日 広島県・福山市と寄付講座「小児急性疾患学講座」設置に関する協定を締結



4 April

1日 津島キャンパスのピーチユニオンに、コンビニエンスストア「セブン・イレブン岡山大学店」がオープン



1日 グローバル人材育成院を設置

1日 大学院自然科学研究科に光合成研究センターを設置

8日 平成25年度入学式を開催

岡山大学・大学院の入学式が桃太郎アリーナであり、学部・大学院生ら3,458人が新生活をスタートさせた。



16日 コカ・コーラウエストからスポーツ教育支援金を寄贈される

19日 岡山大学病院が厚生労働省の臨床研究中核病院整備事業の対象機関に選定

20日 岡山大学病院に総合診療棟が完成し、記念式典を開催

22日 本学も構成員となっている国立六大学国際連携機構が、ASEAN大学連合(AUN)とパートナーシップ協定に調印し、AUN加盟13大学と副学長会議を開催

24日 津島地区の陸上競技場東に正課外活動施設を新営・改修し、竣工披露式を開催



25日 定例記者発表を開催

5 May

8日 留学生や学生の交流の場となる言語カフェ「らぶら(エル・カフエ)」を開設



11日 資源植物科学研究所の一般公開を開催

23日 定例記者発表を開催

23日 大学院法務研究科と総社市が連携協力に関する協定を締結

28日 岡山市と「学生の教育・研究に関する協定」を締結



28日 岡山シンフォニーホールと包括的連携・協力協定を締結

6 June

3日 大学院自然科学研究科の秦正治教授が「電波の日」総務大臣表彰を受賞

7日 東日本大震災「学・職・住」総合学生支援制度の共同記者発表を開催

東日本大震災および福島原発事故で進学に支障が生じた受験生に就学の機会を拡大しようとして、本学と岡山市、岡山経済同友会が連携して「学・職・住」の3面から総合支援を行うことを決定。産学官が協力して進めるこうした総合支援は全国でも珍しい取り組みで、特に「職」の提供は全国初。



研究・臨床成果

■大学院自然科学研究科の工藤一貴助教、野原実教授らの研究グループは、122型と呼ばれる鉄系超伝導の基本物質において、電気抵抗がゼロになる超伝導へ移行する温度をセ氏零下228度まで引き上げることが成功した。英国 Nature Publishing Group の電子ジャーナル Scientific Reports に掲載。(3月・定例記者発表)

■資源植物科学研究所の村田稔教授は、モデル植物であるシロイヌナズナにおいて、植物では全く新しいペクターとなる人工染色体の創出に成功した。英国の研究雑誌 The Plant Journal に掲載。(4月・定例記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の榎本秀一教授らの研究グループは、複数種の放射性薬剤を同時に可視化する半導体コンプトンカメラ「SPIC」を改良し、生体内のタンパク質とミネラルの振る舞いを体の外から高い解像度で同時に観察することに成功した。英国の科学雑誌 Journal of Analytical Atomic Spectrometry に掲載。(5月・臨時記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の滝川正春教授らの研究グループは、CCN2/CTGFを軟骨特異的に過剰発現するトランスジェニックマウスを作成し、同マウスでは長管骨の伸長が見られることを世界で初めて突き止めた。米国の科学雑誌 PLoS ONE に掲載。(5月・臨時記者発表)

■大学院自然科学研究科の沈建仁教授の研究グループは、植物の光合成において太陽光を利用した水分解・酸素発生反応におけるカルシウムイオンの役割を、タンパク質の立体構造解析により突き止めた。米科学アカデミー紀要に掲載。(5月・臨時記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の加藤宣之教授の研究グループは、C型慢性肝炎の治療薬であるリバビリンの効き目を決める宿主遺伝子を突き止め、その分子機構を明らかにした。米肝臓専門誌 Hepatology に掲載。(5月・臨時記者発表)

■岡山大学病院の赤木禎治准教授らのグループは、複数個の穴があいている心房中隔欠損症の患者に対し、新しい三次元超音波診断法を用いて安全・確実にカテーテル治療が可能になったと発表。北米心血管イメージング学会雑誌 The International Journal of Cardiovascular Imaging に掲載。(5月・臨時記者発表)

■大学院自然科学研究科の井口勉准教授の研究グループは、新規構造の抗マリアリア活性剤の発見に成功し、その作用機構の一部を究明した。創薬化学専門誌 European Journal of Medicinal Chemistry に掲載。(5月・臨時記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の浅田騰大学院生、谷本光音教授らの研究グループは、骨を構成する「骨細胞」が、すべての血液細胞の元となる造血幹細胞の機能制御に関与していることを動物実験で世界に先駆けて明らかにした。米科学雑誌 Cell Stem Cell に掲載。(5月・臨時記者発表)

■異分野融合先端研究コアの佐藤伸准教授らは、メキシコサラマンダーなどの有尾両生類で四肢を再生させることのできる3因子を世界で初めて発見した。米科学雑誌 Developmental Biology に掲載。(6月・臨時記者発表)

■大学院環境生命科学研究科の奥田潔教授らの研究グループは、初期胚輸送に必須であるウシ卵管のプロスタグランジン分泌は、夏場の高温環境が悪影響を及ぼすことを明らかにした。英国の生殖科学誌 Reproduction に掲載。(6月・臨時記者発表)